

種名と配列に関わる解説等（刺胞動物門）

○目録の解説

刺胞動物門においては、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

学名や分類体系はインターネット上のデータベースである WoRMS Editorial Board (2019) に概ね準拠した。

岡山県野生生物目録 2009 でのこの門の種数合計は 7 であった。本改訂で 58 種が新規追加され、現時点の種数合計は 65 となった。新規追加種は下記文献および委員・協力員の確認記録および情報収集によった。

刺胞動物門の目録作成は協力員の柳 研介（千葉県立中央博物館分館海の博物館）・多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）・田中正敦（鹿児島大学大学院理工学研究科）・平野弥生（千葉県立中央博物館分館 海の博物館）が中心となってい、本解説は多留聖典が作成した。目録作成にあたっては検討会委員の阪田睦子、福田 宏の協力を得た。

○主な参考文献

岸上鎌吉, 1890. 備前くらげ. *動物学雑誌*, **2**: 47–54, pl. 2.

岸上鎌吉, 1891. 備前くらげ. *動物学雑誌*, **3**: 53.

小川数也・太田日出明, 2000. ムツサンゴ牛窓に産す. *南紀生物*, **42**: 32.

岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議 (編), *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 50–52 年度文部省科学研究費補助金総合研究 A 研究成果報告)*, 158–170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.

岡山県 (編), 1930. *岡山県下二産スル特殊動物並ニ該動物ニ関スル研究論文目録*. 岡山県, 岡山.

著者不詳, 1975. 岡山大学玉野臨海実験所. In 菊池泰二 (編), *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 49 年度科学研究費総合研究 B 研究成果)*, 59–63. 全国臨海臨湖実験所長会議, 福岡.

上 真一・上田有香, 2004. 瀬戸内海におけるクラゲ類の出現動向と漁業被害の実態. *水産海洋研究*, **68**: 9–19.

WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019 年 2 月 14 日閲覧)